

令和7年第3回（6月）定例会一般質問通告一覧表

令和7年6月24日（火）

番号	氏 名	質 問 事 項
1	2 番議員 堤 弘行	・ 東かがわ P a y の現状と今後の展開について
2	6 番議員 工藤 正和	・ 瀬戸内国際芸術祭夏会期の受入態勢について ・ 田の浦野営場の管理体制について
3	13 番議員 橋本 守	・ 遊休農地の対策について ・ 太陽光発電システムへの課税について
4	10 番議員 山口 大輔	・ 地域ケア会議の効果的な開催について ・ 奄美のサトウキビが運んだ奇跡、和三盆の物語をもう一度紡げないか ・ 訪問販売・訪問買取の被害防止対策について
5	12 番議員 田中 貞男	・ 土のう保管場所について ・ 国調現地確認不能地について ・ 民生委員の所管について
6	1 番議員 小松 千樹	・ 消火用ホースの管理状況について ・ 電子図書館について
7	8 番議員 工藤 潔香	・ 温水プールの子ども水泳教室について
8	5 番議員 久米 潤子	・ 訪問介護現場におけるごみ出し支援について ・ 新たな市指定ごみ袋の作成及び活用について ・ 75歳以上の高齢者への人間ドック補助制度の拡充について
9	9 番議員 宮脇 美智子	・ I C T 教育の導入と児童・生徒のパソコン、スマートフォン等の使用について
10	15 番議員 東本 政行	・ 市長の政治姿勢について ・ 使用済み食用油の回収とリサイクル活用について ・ 国道11号沿いの景観向上に向けた、空き家対策について



受領 令和 7 年 6 月 6 日 午後 3 時 25 分

令和 7 年 6 月 6 日

東かがわ市議会議長
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 堤 弘行



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
東かがわ Pay の現状と今後の展開について	東かがわ Pay は、本市のデジタル地域通貨システムであり、商工振興やデジタル施策につながるものです。 昨年度は、このシステムを活用し、物価高騰対策として、商工会と連携しデジタル商品券を発行することにより、地域経済を支援しました。 今年度は、新たに東かがわマネー、デジタル地域ポイントが始まると聞いております。 これを踏まえて質問致します。 (1) デジタル商品券の実績は。また、事業の成果をどのように考えているのか。 (2) 東かがわ Pay の今後の展開は、どのようになっていくのか。	市長



令和 7 年 6 月 6 日 午後 3 時 27 分

令和 7 年 6 月 6 日

東かがわ市議会議長
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 工藤 正和



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
瀬戸内国際芸術祭夏会期の受入態勢について	瀬戸内国際芸術祭の夏会期にいよいよ本市が登場します。そこで、令和 6 年 6 月定例会においても質問しましたが、瀬戸芸の受入態勢について、確認の意味を込めて質問いたします。 1. 交通規制・交通安全対策の準備はいかがでしょうか。また、海上交通について、小豆島からの臨時航路は普段はないルートでの運行となりますが、万が一に備えての救助体制のシミュレーションなど、準備はいかがでしょうか。 2. ごみのポイ捨て禁止等の呼びかけの徹底など、ごみ対策についてはいかがでしょうか。 3. トイレについては、訪問先の印象に大きく作用するものであり、利用者が不快な思いをすることのないよう、どのように準備しているのでしょうか。 4. 瀬戸芸をフックに、本市に人を呼び込むための仕掛けとなるイベント、公式ツアー、また、飲食・物販など、計画はいかがでしょうか。また、交通や地図などの情報発信の準備はいかがでしょうか。 5. 夏会期で特に心配される暑さ対策について、準備はいかがでしょうか。 6. 市民の受入態勢、おもてなしムードの醸成という重要課題への対応はどうでしょうか。また、どれくらいの手応えを感じているのでしょうか。	市 長

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
田の浦野営場の管理体制について	田の浦野営場は、無料で利用できる上に海が近く、トイレも整備されていることから、大阪・関西万博や瀬戸芸の開催に伴い、利用客がさらに増加するのではないかと考えられます。その一方で、トラブルも増大するのではないかと懸念しています。 そこで、管理体制についての現状と今後の在り方について、市長に質問いたします。 1. 田の浦野営場の現状の管理体制についてお伺いします。 2. 利用者の氏名や連絡先の把握のため、利用申請制を導入してはいかがでしょうか。 3. 協力金などの形で有料化してはいかがでしょうか。	市 長



令和 7 年 6 月 6 日 午後 3 時 48 分

令和 7 年 6 月 6 日

東かがわ市議会議長

渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 橋 本 守



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
遊 休 農 地 の 対 策 に つ い て	1. 耕作者の高齢化と担い手不足により、遊休農地がますます増えているが、今後の対策はどうするのか。 2. 集積、ほ場整備について、本市の現状と今後の方針はどうなっているのか。 3. 比較的簡単に復旧できる農地への対策をどう考えているのか。	市 長
太 陽 光 発 電 シ ス テ ム へ の 課 税 に つ い て	市内の山林や農地であった土地に太陽光発電システムが設置されている。適正に課税されているのかお尋ねいたします。	市 長



受領 令和 7 年 6 月 6 日 午後 4 時 25 分

令和 7 年 6 月 6 日

東かがわ市議会議長
渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 山口 大輔



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
地域ケア会議の効果的な開催について	地域ケア会議は、介護保険制度において専門職の連携や地域課題の把握に重要な役割を担っている。しかし、現場では形式的な会議にとどまっているとの指摘や、人的・時間的な負担の大きさを訴える声もある。より効果的な会議を目指すため、以下について伺う。 1. 地域ケア会議の開催頻度の妥当性及び有効性について 2. ケアマネジャー等専門職の支援・育成の効果について 3. 会議で得られた地域課題について行政施策や資源整備への反映状況はどうか 4. 会議の負担軽減と実効性向上に向け、運営改善を考えてはどうか	市長
奄美のサトウキビが運んだ奇跡、和三盆の物語をもう一度紡げないか	和三盆の起源には、奄美大島から種きびを持ち運んだ関良助の存在がある。しかし、その歴史的背景は十分に語られておらず、市民への定着も進んでいないと感じる。この歴史を掘り起こすことで新たな魅力を生み出せないかと考え、以下について伺う。 1. 関良助の歴史的背景について、現状把握や研究等はどうなっているのか 2. 関良助や和三盆の教育現場での活用について 3. 和三盆と奄美黒糖、それをつなぐ関良助の存在をいかして奄美大島との文化・教育・産業・観光等の連携はできないか 4. これらの資源をいかして、新たな商品開発や既存商品の販路拡大、観光振興をすすめてはどうか	市長 教育長

訪問販売・訪問買取の被害防止対策について	全国的に訪問販売や訪問買取による悪質な被害が後を絶たない。対策として、奈良県生駒市をはじめ独自条例により実効性の高い防止策を講じる自治体も増えてきた。本市においても同様の取組が必要と考え、以下について伺う。 1. 本市における訪問販売・訪問買取に関する相談件数や被害の実態について 2. 現在行っている啓発活動・相談体制の内容とその効果について 3. 条例策定など被害防止に向けて積極的な対策を行うべきではないか	市長
-----------------------------	---	-----------



受領 令和 7 年 6 月 9 日 午後 3 時 50 分

令和 7 年 6 月 9 日

東かがわ市議会議長
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 田 中 貞 男



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
土のう保管場所について	現在、土のう保管・作成場所を市内に 8 か所設置しています。高齢化が進む中、必要な時に保管場所までの距離が遠く、利用を躊躇する場合も考えられることから、もう少し保管場所を増やす必要があると考えます。そこで以下の点について伺います。 1. 市内全ての消防屯所に保管場所を設置してはどうか。 2. 各保管場所の距離等を考えて、設置箇所を増設する考えはあるのか。	市 長
国調現地確認不能地について	法務局の公図や登記簿には記載されているが、現地で確認することができない現地確認不能地について、以下の点を伺います。 1. 市内の現地確認不能地について、市はどこまで把握しているのか。 2. 過去に現地確認不能地の寄付事例は何件ぐらいあるのか。 3. 今後、地権者の希望があるとき、市の所有にする考えはあるのか。	市 長
民生委員の所管について	民生委員に関する業務について、本市では、福祉課が所管していますが、県内を確認すると、社会福祉協議会が行っていることが多いと聞きます。そこで以下の点について伺	市 長

	います。 1. 民生委員に関する業務を社会福祉協議会へ移管することについてどのように考えるか。 2. 市から業務移管をした場合、職員数に対して施設がさらに狭くなると感じるが、施設の建替えについて市としてどのように考えるか。	
--	---	--



受領 令和7年6月9日 午後 4 時 40 分

令和7年6月9日

東かがわ市議会議長
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 小松 千樹



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
消火用ホースの管理状況について	消火活動において消火栓と消火用ホースは必要不可欠なものであり、いざという時に対応可能な状態でなくてはならない。 そこで、以下の点について伺う。 (1) 本市の消火栓と消火用ホースの設置状況について (2) 消火用ホースは保管状況によって、耐用年数内であっても劣化してしまうことがあると聞く。状態の確認など維持管理はどのように実施しているのか。 (3) 消火用ホースを適切に管理するため、消火栓格納箱と土台についても定期的な点検と改修が必要と思われるがどうか。	市長
電子図書館について	電子図書館は、書籍や雑誌などの電子化された出版物や資料を収集し、ネットワークを介して利用者に提供するインターネット上の図書館サービスである。忙しい方や図書館まで行けない方でも自宅から本を借りて読むことができるようになる。 そこで、以下の点について伺う。 (1) 利用者や市にとってのメリットやデメリットについて、どう考えるか。 (2) 市のデジタル化を推進するにあたり、市立図書館や学校現場への導入を進めてはどうか。	市長 教育長



受領 令和 7 年 6 月 10 日 午前 9 時 17 分

令和 7 年 6 月 10 日

東かがわ市議会議長

渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員

工藤 潔香



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
温水プールの子ども水泳教室について	東かがわ市温水プールは、令和 6 年 7 月から運営を開始し、来月で 1 年を迎えるが、多くの市民から高評価を得ていると感じている。 その一方で、子ども水泳教室の運営に関しては「申し込みをしても入ることができない」「東かがわ市の希望者が入りやすいように定員を増やしてほしい」「申し込み方法が分かりづらい」等の要望や不満の声も寄せられており、市民サービスの低下と評されるのではないかと懸念している。 そこで、子ども水泳教室について教育長に伺う。 1. 定員数は。 2. 利用者数とその市内外の割合は。 3. 指導員の人数は。 4. こうした要望等がある現状を市は把握しているのか。	教育長



受領 令和 7 年 6 月 10 日 午後 1 時 5 分

令和 7 年 6 月 10 日

東かがわ市議会議長
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 久 米 潤 子



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
訪問介護 現場にお けるごみ 出し支援 について	近年、在宅介護のニーズが増す中、訪問介護に従事するヘルパーの方から、ごみ出しのタイミングが訪問時間と合わず、また介護利用者が自力で出せないため、結果的にヘルパーの負担となるという切実な現場の声が届いている。 これは法的・衛生的観点からも課題があると考えます。 そこで以下について伺う。 (1) こうした課題を市は認識しているのか。 (2) 他自治体では、ヘルパーがごみ出しを代行できるよう「ごみ出し支援シール」を配布するなど、現場に寄り添った制度が導入されている。本市も検討してはどうか。	市長
新たな市 指定ごみ 袋の作成 及び活用 について	プラスチックごみ削減と環境に配慮するため、近年、レジ袋が有料化されている。そこで以下について伺う。 (1) レジ袋に適したサイズの市指定ごみ袋を新たに作成する考えについて。 (2) 市指定ごみ袋を有料レジ袋の代わりとなるよう市内店舗において推進してはどうか。	市長
75 歳以上 の高齢者 への人間 ドック補 助制度の 拡充につ いて	現在、本市では人間ドックの補助対象を 74 歳までに限定しているが、75 歳以上の後期高齢者にも継続的な健康管理の支援が必要である。高齢者の健康維持は本人の幸せにとどまらず、医療・介護費の抑制につながり、市財政にも貢献するため、後期高齢者にも補助を拡充すべきではないかと考える。そこで以下について伺う。 (1) 人間ドック補助の対象が 74 歳までに限定されている理由と背景について。 (2) 県内他自治体における後期高齢者への補助事例の有無とその評価について。 (3) 今後の補助制度の見直し・拡充への検討について。	市長



令和 7 年 6 月 11 日 午後 3 時 55 分

令和 7 年 6 月 11 日

東かがわ市議会議長
渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員

宮脇 美智子



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
ICT 教育の導入と児童・生徒のパソコン、スマートフォン等の使用について	本市では、国のGIGAスクール構想に基づき、市内小中学校の児童・生徒に1人1台端末を導入し、6年が経過したところである。また、児童・生徒が市のタブレット端末以外にも、日常的にパソコン、スマートフォン等を使用している。そこで伺う。 ① デジタル教科書、AIドリル導入による児童・生徒の学力の現状と課題について。 ② タブレット端末を家庭に持ち帰っているが、問題点やトラブル等は発生していないか。 ③ タブレット端末導入により教職員にどのような負担や問題があるか。また今後の対策は。 ④ ハッキングや乗っ取り等に対するセキュリティ対策は万全か。また、これまでに問題はなかったか。 ⑤ 市のタブレット端末や家庭用のパソコン、スマートフォン等について、アカウント情報を盗まれたり、悪用されるなど児童・生徒に被害はないか。 ⑥ 児童・生徒のパソコン、スマートフォン等の使用時間と学力の相関関係はあるか。また、その内容と対策について。 ⑦ パソコン、スマートフォン等の使用が増えることによる、活字離れや紙の本の読書離れの現状と課題について。 ⑧ パソコン、スマートフォン等の使用により、児童・生徒の健康にどのような影響を及ぼしているか。その現状と対策について。 ⑨ 児童・生徒が、パソコン、スマートフォン等の悪用により、いじめの加害者や被害者になっていないか。 ⑩ 家庭でのパソコン、スマートフォン等の使用に関する子どもと保護者間のルール作り等の指導は行われているか。	教育長



受領 令和 7 年 6 月 12 日 午前 11 時 55 分

令和 7 年 6 月 12 日

東かがわ市議会議長

渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 東本政行



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
1.市長の政治姿勢について	(1) 今、物価高騰で苦しむ市民の生活を守ることが求められている。市民の生活を守るために、国は財源を捻出し、消費税を 5 パーセントに減税することが求められていると思うが、市長の見解はどうか。 (2) 全国には市民への物価高騰対策を独自に行っている自治体がある。本市も検討すべきではないか。 (3) 備蓄米の流通に報道が集中する中で、価格高騰の根本的要因は圧倒的なコメ不足にある。今、必要なのは、農業を基幹産業と位置付け、農家への所得保障、価格保障を行うことである。その結果として食料自給率を向上させることができると思うが市長の見解と市の対策はどうか。	市長
2.使用済み食用油の回収とリサイクル活用について	市民から「使用済みの天ぷら油の回収を市が取り組むようにならないか」という声を聞いた。全国には回収に協力し、リサイクルで再利用している自治体もある。 本市でも、他の自治体の取組を参考にして、使用済み食用油の回収とリサイクルの協力について検討してはどうか。	市長
3.国道 11 号沿いの景観向上に向けた、空き家対策について	(1) 令和 6 年 9 月議会の私の一般質問で、国道 11 号沿いで景観を阻害する空き家への対策について問うた際、空き家の所有者等に対し、適正な維持管理を求めていくとのことだった。その後の進捗はどうか。 (2) 現状のまま放置しておくことは、市の空き家等対策計画にそぐわず、また訪問者や通行者に悪い印象を与えることになると思うがどうか。	市長

令和7年第3回（6月）定例会一般質問通告一覧表

令和7年6月25日（水）

番号	氏 名	質 問 事 項
1	7 番議員 田中 久司	・ 公共施設における照明器具のLED化について ・ 「防災マイスター認定制度」の導入について
2	3 番議員 淀 紀清	・ 駅前空間の利活用による地域のにぎわい創出について
3	11 番議員 大田 稔子	・ 親子交流の公的支援について ・ 小中学生に対する生理や体のしくみの教育の必要性について ・ 移住者増加について
4	16 番議員 大藪 雅史	・ 重層的支援体制整備事業について ・ 教職員の増員、労働環境の改善策について
5	4 番議員 安倍 正典	・ JR引田駅の南側改札口の新設について ・ 自治会の在り方について



受領 令和 7 年 6 月 12 日 午後 4 時 5 分

令和 7 年 6 月 12 日

東かがわ市議会議員
渡 邊 堅 次 殿

東かがわ市議会議員 田 中 久 司



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
公共施設における照明器具の LED 化について	蛍光管等の製造禁止措置を 2027 年末までに実施する方針が決定される中、現在、全国の自治体においても、所有する公共施設における照明器具の LED 化が重要な課題となっている。 そこで、以下について伺う。 ① 現在所有する市の公共施設で、LED 化の対象となる施設は何か所あるのか、またその所管別の内訳は。 ② 対象施設における LED 化の現在の進捗状況と今後の計画は。 ③ 全国的な LED 化に伴い、資材供給不足や価格高騰が懸念される。学校などの大規模施設への対応や、学校体育館の空調工事への影響など、厳しい状況が予想されるが、迅速、確実な LED 化を行うために、市はどのような具体的な対応を検討しているのか。	市長 教育長
「防災マイスター認定制度」の導入について	大規模災害に備えるため地域の防災力を向上させるには、住民一人一人の防災意識の向上、それを実践できる仕組みを整えることが重要だと考える。 姫路市では「防災マイスター認定制度」として、自治体が実施する防災の講座を受講し、認定された市民が防災知識やスキルを活かし、そのネットワークを中心に防災活動を展開する仕組みを導入している。そこで、以下について伺う。 ① このような制度導入の必要性について、どのような認識か。 ② 制度導入による効果について、どのように考えるか。 ③ 制度を導入する場合、行政の役割と課題について、どのように考えるか。 ④ 自主防災組織と連携する場合、どのような課題があるかと考えるか。	市長



受領 令和 7 年 6 月 13 日 午前 10 時 00 分

令和 7 年 6 月 13 日

東かがわ市議会議長
渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 淀 紀清



一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨(内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
駅前空間の利活用による地域のにぎわい創出について	本市の各駅周辺には、まだまだ活用できそうな空間が存在している。これらの駅前空間を、夜マルシェやビアガーデン、秋祭りといったイベントに活用することで①観光客や市民の夜間滞在の促進②地域経済への波及効果③若手事業者や移住者の挑戦の場の創出④地元資源(食・文化・空間)の再評価⑤地域への愛着の形成に寄与できると考える。 このことから、以下の4点について伺う。 (1)市がこれまでに行った駅前空間の活用状況と、今後の利活用に向けた方針は。 (2)駅前空間にイベントやにぎわいの場をつくることで、公共交通の利用促進にもつながると考えるが、市長の見解は。 (3)民間や市民団体による、自主的なイベント開催に対する支援方針は。また、駅前空間の活用を公募してはどうか。 (4)駅前空間の利活用による地域のにぎわい創出についてどう考えているか。	市長



受領 令和 7 年 6 月 13 日 午後 5 時 00 分

令和 7 年 6 月 13 日

東かがわ市議会議長

渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員

大田 稔子



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
親子交流の公的支援について	父母が離婚後も適切な形で子どもを養育し、その責任を果たすことは、子どもの利益を確保するために重要である。また、離婚後離れて暮らす親と子が定期的に会う「親子交流（面会交流）」は、傷ついた子どもの気持ちを回復するために大変重要な機会と考える。そこで、下記について伺う。 1. 本市は、親子交流についての相談場所を設けているのか。 2. 本市は、親子交流について財政面などの公的支援を実施しているのか。	市長
小中学生に対する生理や体のしくみの教育の必要性について	子どもたちが自分の体を理解し、健康に過ごすため、生理についての教育や体のしくみについての教育も非常に重要である。そこで、下記について伺う。 1. 生理に関する教育は、男女ともに必要と考える。小中学校において、どのように実施されているのか。 2. 体のしくみに関する教育は、小中学校において、どのように実施されているのか。 3. 児童生徒が、生理や体のことについて相談しやすい環境づくりができているか。 4. 現状の課題と、今後の対応は。	教育長

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
移住者増加について	先般、香川県の発表によると、2024 年度は過去最多の 2,879 人が県内へ移住し、特に 20 代と 30 代の若い世代が多いことが特徴であるとの報道があった。そのうち、東かがわ市への移住者は 262 人で、この増加は移住促進施策や情報発信が功を奏していると分析されている。そこで、下記について伺う。 1. 本市の移住者の定義について。 2. 若い世代や 60 歳以上の移住者が本市で増加している理由について。 3. 本市への移住者の居住地域別人数は。 4. 今回発表のあった本市の移住者数に関するアンケートの調査項目は。この他、市の各移住促進施策において、アンケート調査は行っているのか。 5. 本市の移住促進施策の評価や今後の課題は。	市長



令和 7 年 6 月 16 日 午前 9 時 33 分

令和 7 年 6 月 16 日

東かがわ市議会議長

渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 大藪 雅史



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
重層的支援体制整備事業について	現在、困難や生きづらさなど市民が抱える課題が多様化、複雑化し、既存の制度の対象となりにくいケースが増えてきており、重層的支援体制整備事業について規定した社会福祉法第106条の4の創設の背景にもなっているひきこもりやいわゆる「8050問題」など、個人や世帯が複数の問題を抱え表面に出ないケースも多いと考える。 (1) 現在、本市ではどのような取組をしているのか。 (2) 今後、属性・世代を問わない支援の体制づくりをどのようにしていくのか。	市長
教職員の増員、労働環境の改善策について	給与面での待遇の改善は、教職調整額を増やすなど、国や県において教職員増員のための予算措置はできていると聞いている。今後、25人学級を目指し、また特別支援学級も増えて加配の職員も必要となる中、そのネックとなっているのが労働環境ではないかと考える。 (1) 未だに超過勤務が80時間を超える教職員もいるようだがどのように考えているのか。 (2) 今後、教職員の増員、労働環境の改善策についてどのように考えているのか。 (3) 教職員の採用については、県との連携が重要と考えるがどのように考えているのか。	教育長



受領 令和 7 年 6 月 16 日 午前 10 時 30 分

令和 7 年 6 月 16 日

東かがわ市議会議長

渡邊 堅次 殿

東かがわ市議会議員 安倍 正典



一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
J R 引田駅 の南側改札 口の新設に ついて	J R 引田駅に南側改札口を新設することで、利便性の向上を 図るとともに、これからのまちづくりの一助になると考えられ ますが、市長のご所見をお伺いします。	市長
自治会の在 り方につい て	現在、本市でも自治会を廃止する地区も現れるなど、自治会 の存続が危うい状況だと思えます。そこで、次の 2 点について 市長のご所見をお伺いします。 ① 自治会の加入率が低下している現在の状況と今後の在り 方について。 ② 自治会への補助金はどういう目的で出されているのか、 また今後の補助金の在り方について。	市長